



市川 和子 議員 (ネット)

次世代育成支援行動計画 後期計画の策定について

区長 ①企画部長はじめ20の関係部課長で構成をしている。②平成21年11月をめどに意見をまとめていただく予定等だ。③親育ちワークショップ等、さまざまな事業としての具体化だ。④対象は区内の中小企業2千社と10歳未満の子どもを持つ保護者6千人で、現在、結果を分析中だ。⑤公募委員を新たに募集するほかは、現在の協議会に尽力をいただきたい。⑥委員は、子どもの意見を十分把握された上で会議に臨んでいこうと考える。⑦複数の部に分かれている青少年育成関連事業を、できるだけ一元化するためだ。

食育と学校給食について

①国では、2008年度をめぐりに複数のモデル地区を設置して、栄養教諭を配置していくという方針を出しているようだが、この計画への考えは。②食育への区の考えは。③食育に、市民力を生かす取り組みを進めては。④今後の調理代行の導入について伺う。⑤雇用・労働条件が異なるため、栄養士と調理員のコミュニケーションがとりづらいたと危惧されるが、見解は。⑥調

認知症サポーターの普及について

①認知症サポーター養成事業の進捗状況等は。②区民に対して養成講座をどのように行っていくのかなど、今後の展開を伺う。③区職員や区内の公共施設の窓口業務従事者に対し、認知症サポーター講座の受講を義務づけては。④福祉高齢事業部長 ①モデル事業を、本年度まで区内13地区のうち7地区で実施した。②毎年、講演会を開催するなどしており、今後も機会をとらえて行っていく。③認知症の基本的な理解は、重要なことなので検討課題とする。



子ども達による基本構想策定記念公園づくり

組織改正における組織のあり方について

①2009年度より大きな組織改正が行われるが、改正の理由等は。②「協働推進担

当」が「協働・国際担当」に変更に至った理由等は。③第三期長期基本計画の総合実施計画には、いつまでに何をするかという目標値が示されていなかった。新しく策定する総合実施計画には、おおむね5年後にはここまで実現することをめざすという、数値目標も入れた計画にしては。



林 宏 議員 (自民)

「当」が「協働・国際担当」に変更に至った理由等は。③第三期長期基本計画の総合実施計画には、いつまでに何をするかという目標値が示されていなかった。新しく策定する総合実施計画には、おおむね5年後にはここまで実現することをめざすという、数値目標も入れた計画にしては。

新しい品川区向けの「新」品川区長の考え方について

①本年3月に20年ぶりに品川区の基本構想が改定された。濱野区長の考えが相当に入っていると感じている。現在は、その構想を実現し、また品川

①本年3月に20年ぶりに品川区の基本構想が改定された。濱野区長の考えが相当に入っていると感じている。現在は、その構想を実現し、また品川区を新しく住みやすいまちにしていくため、第四次長期基本計画、実施計画が練られている。この長期計画、実施計画の中に「濱野構想」といった新しい品川区の政策が打ち出されてくると考えるが、区長の思いを伺う。②朝の庁内放送等、区長の考えを職員に伝える機会が多いが、職員から区長への意見の具申はどのような形をとっているのか。③町会長会議やタウンミーティングというような従前からの計画によるものではない場で、区民の意見を聞く機会は、どのような形を想定しているのか。④西小山駅周辺の住宅建設について、はつきりとした区側の意見を、述べる

ことが大事ではないか。

区長 ①新しい品川区を象徴する基本構想は、三つの理念を掲げているが、この三つの理念の底流には、品川区の持つ力を生かす切るといふ、一つの共通の理念を置いている。その力をさらに高め、区民の皆様にとりから住み続けたいと思っていただけのよ

①前回の組織の改正は、行政改革という大きな目標があったが、今回は、どこに目標があるのか。②「防災まちづくり事業部」の名称について、「防災」が大変に大事な問題だということは承知しているが、事業部全体に「防災」という冠がついていると、こくりこない。事業部全体を見通すのに不都合ではないのか。③「商業・観光課」について、「観光」は、区民組織での発足、活躍が実ってきていたが、なぜ突然に行政が抱え込んでしまうのか。④保健業務の組織改正について、どのような考えで進めているのか。⑤生涯学習事業の区長部局への移行について、受け皿など体制に問題はないのか。

組織変更からくる機能充実について

①前回の組織の改正は、行政改革という大きな目標があったが、今回は、どこに目標があるのか。②「防災まちづくり事業部」の名称について、「防災」が大変に大事な問題だということは承知しているが、事業部全体に「防災」という冠がついていると、こくりこない。事業部全体を見通すのに不都合ではないのか。③「商業・観光課」について、「観光」は、区民組織での発足、活躍が実ってきていたが、なぜ突然に行政が抱え込んでしまうのか。④保健業務の組織改正について、どのような考えで進めているのか。⑤生涯学習事業の区長部局への移行について、受け皿など体制に問題はないのか。

て、10年に及ぶ深夜の工事に理解を示し、協力をしていた。だいた地域の方々には誠実に対応するようにと指導したなどだ。

教育の変化について

①施設一休型小中一貫校について、「6校が要る」という理由が教育委員会から発せられていないのでは。②品川の教員たちのさまざまな取り組みや努力を、行政として、教育委員会事務局は外に発信するべきでは。

教育長 ①地域バランスを考慮して配置するという計画を行ってきた。小中一貫教育に対する保護者や区民の期待が大変大きいことから、当初の計画に基づいてこの事業を進めたい。②今後も、学校の地道な努力やその成果を、ありとあらゆる手段を通しPRに努めたい。

企画部長 ①区政を取り巻く環境の変化に的確に対応することなどであり、その前提には行政改革の継続的な推進がある。②区民を災害から

守るための万全の体制を構築するという区の強い意志を、組織上明らかにするもの。③組織上明確に位置づけ、民間の方々との連携をさらに強化するためのものだ。④保健所長のもとに食品衛生部門等を一元化することにより、指揮系統を明確にして、危機の発生に備えるものだ。

品川区議会ホームページをご覧ください

区議会の最新情報や議員のプロフィールなどを紹介しています。また、区議会議長の出席会議や議長交際費の支出状況なども掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



品川区議会のホームページアドレス

http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/kugikai/index.html